

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
工学リテラシー Literacy for Engineers		情報メディア学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	大崎 堅	
概要				
<p>学問をするためには「読み」、「書き」、「計算」、「話す」が必修条件となる。本学科は、工学系であるゆえ、最も必要とされる基礎的な数学について10回、事象の理解と伝達の基本である実用文書（例えば解説や論文、各種報告書等）の講読を3回、論文・発表用予稿の書き方並びに研究発表（プレゼンテーション）の仕方について2回に分けて講述する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 各種の数の定義とその使用法について説明できる。  (2) 各種関数の意味・グラフ・使用法について説明できる。  (3) 関数の極限・微分・積分について理解し、計算・説明できる。  (4) 実用文章の内容を把握し、その概要を書くことができる。  (5) 与えられたテーマについて、グループで討論し、要領よくまとめ、かつ発表できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーション  2 公理、定義、定理及び演算法則  3 数について  4 指数と対数  5 複素数と三角関数  6 一次・二次及び三角関数とそのグラフ  7 連立一次方程式の解法  8 関数と極限  9 微分係数と導関数  10 積分の定義、面積と積分  11 随筆の購読と解説  12 解説記事の講読と解説  13 論文の購読と解説  14 論文や発表用予稿の書き方  15 研究発表（プレゼンテーション）の仕方</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：使用しない。 適宜プリントを配布</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど				

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 各種の数の定義とその使用法について説明できる。	数の定義と使用法について80%以上の確に説明できている。	数の定義と使用法について79～70%的確に説明できている。	数の定義と使用法について69～60%的確に説明できている。	的確な説明が60%未満である。	定期試験(知識・理解・思考力)	20%
					演習レポート(理解・意欲・思考力)	5%
(2) 各種関数の意味・グラフ・使用法について説明できる。	関数の意味・グラフ・使用法について80%以上の確に説明できている。	関数の意味・グラフ・使用法について79～70%的確に説明できている。	関数の意味・グラフ・使用法について69～60%的確に説明できている。	的確な説明が60%未満である。	定期試験(知識・理解・思考力)	20%
					演習レポート(理解・意欲・思考力)	5%
(3) 関数の極限・微分・積分について理解し、計算・説明できる。	関数の極限・微分・積分を80%以上の確に計算・説明することができる。	関数の極限・微分・積分を79～70%的確に計算・説明できている。	関数の極限・微分・積分を69～60%的確に計算・説明できている。	的確な計算・説明が60%未満である。	定期試験(知識・理解・思考力)	25%
					演習レポート(理解・意欲・思考力)	5%
(4) 実用文章の内容を把握し、その概要を的確に書くことができる。	80%以上の確に書くことができる。	79～70%的確に書くことができる。	69～60%的確に書くことができる。	的確に書くことが60%未満である。	感想文レポート(理解・意欲・思考力・表現力)	10%
(5) 与えられたテーマについて、グループで討論し、要領よくまとめ、かつ発表できる。	80%以上の確にまとめ、発表できている。	79～70%的確にまとめ、発表できている。	69～60%的確にまとめ、発表できている。	的確にまとめ、発表することが60%未満である。	演習レポート・発表(理解・意欲・思考力・判断力・協同力・表現力)	10%